

シテイクキャストの活動等における
新型コロナウイルス感染予防マニュアル

2021年6月30日

東京都

<本マニュアルにおける用語の説明>

用語	説明
大会	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
シティキャスト	都が募集・運営し、大会において活動する都市ボランティア
都	都（及びシティキャスト運営事務局） ※運営受託者を含む。
研修	シティキャストを対象に活動に必要な情報を提供する研修（本マニュアルでは特に記載のない限り、屋内の研修会場において実施する集合研修を指す。）
活動	シティキャストが大会時に行う主に次の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅等における東京の地理・交通の案内 ・ 競技会場の周辺（観客利用想定駅及びラストマイル）における観客案内
感染症	新型コロナウイルス感染症
観客	大会を観戦するために東京を訪れる観客
スタッフ	シティキャスト運営事務局のスタッフ（都及び運営受託者の職員）
シティキャストリーダー	チームとして活動するシティキャストのまとめ役（以下「リーダー」という。）
控室	シティキャストが活動の前後にミーティングを行い、また、活動の合間に休憩する屋内の控室（例：行政施設、学校、企業の会議室など）
参加者	研修においては、シティキャストに加え、講師、手話通訳者、スタッフ、介助者、取材メディアなど研修に関わるすべての関係者を指す。

第1章 総則

1 概要	1
2 目的	1
3 暑さ対策への配慮	1

第2章 都が行う取組

1 シティキャストの体調確認	1
2 接触確認アプリの活用促進	2
3 検査の実施	2
4 ワクチンの接種	3
5 シティキャスト等への情報提供	3
6 研修における感染予防策	3
7 活動時における感染予防策	5
8 都及び運営事務局における取組	8
9 様々なシティキャストへの対応	8

第3章 シティキャストに協力いただく感染予防策

1 体調確認	10
2 接触確認アプリの活用	10
3 検査の実施	10
4 ワクチンの接種	10
5 基本的な感染予防策の実施	10
6 研修参加時における感染予防策	11
7 活動時における感染予防策	12

第4章 シティキャストが体調不良等になった場合の対応

1 活動の前後に体調不良等になった場合の対応	15
2 活動中に感染が疑われる症例を発症した場合の対応	16
3 研修参加の前後又は研修受講中に体調不良等になった場合の対応	16

第1章 総則

1 概要

本マニュアルは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議の中間整理や専門家の知見、また東京2020組織委員会がフィールドキャストを対象に行う感染症対策を踏まえ、シティキャストが研修に参加し、また、大会時に活動を行うにあたり、シティキャストの感染を予防するために必要な具体的取組について定める。

2 目的

研修や大会時の活動などの様々な場面において適切な感染予防策を講じることで、シティキャストに安心して参加し、安全に活動いただける環境を提供する。

3 暑さ対策への配慮

本マニュアルでは、大会が行われる夏の時期に屋外を中心に活動するシティキャストの暑さ対策との両立に配慮した感染予防策を定める。

第2章 都が行う取組

1 シティキャストの体調確認



- ・シティキャストに検温結果と体調を記録いただくための体調管理ノートを作成し、シティキャストへお渡しする。あわせて、体調管理アプリとその使用方法についても案内を行う。
- ・シティキャストに、活動参加の前後それぞれ14日間検温と体調確認を行い、その結果を体調管理ノート又は体調管理アプリに記録いただくよう案内を行う。
- ・活動当日の受付時に、シティキャストに体調管理ノート又は体調管理アプリを提示いただき、記録状況を確認するとともに、参加者の検温と体調確認を行う。
- ・受付における検温と体調確認の結果、下記のいずれかに該当する場合は、シティキャストに対し活動参加を控えていただくようお願いするとともに、活動日の振替について案内を行う。また、必要に応じ医療機関等へ相談いただくよう案内を行う。

<体調確認を行う項目>

- ① 過去2週間以内から現在に至るまで下記ア～エいずれか1つでも当てはまる方
(医療機関等を受診し、又は検査を受けて感染していないことが確認できた場合等を除く。)
 - ア 体温37.5°C以上または発熱症例の自覚がある
 - イ 強い倦怠感
 - ウ 感冒様症例（咳、咽頭痛、息苦しさ等）
 - エ 味覚・嗅覚異常などの異変がある
- ② PCR等検査陽性歴がある方のうち下記ア～エいずれか1つでも当てはまる方
 - ア 有症例者で、発症日から10日未満、かつ、症例軽快後72時間以内

- イ 有症例者で、症例軽快後24時間経過から24時間以上の間隔をあげ、2回のPCR等検査で陰性を確認できていない
 - ウ 無症例病原体保有者で、検体採取日から10日未満
 - エ 無症例病原体保有者で、検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあげ2回のPCR等検査で陰性を確認できていない
- ③ 濃厚接触者として自宅待機中
 - ④ 海外から帰国（日本に入国）14日未満

2 接触確認アプリの活用促進



- ・シティキャストに対し、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールするとともに、陽性者と接触した可能性がある旨の通知を受領した場合は、関係機関への相談等を行っていただくよう協力をお願いします。
- ・活動への参加当日の受付時に、COCOAからの通知の有無、通知があった場合の対応状況を確認し、自宅待機など必要な期間を経過していない場合は参加を控えていただくようお願いする。
- ・スマートフォンを持っていないなど、COCOAの活用が困難な場合は、健康の維持や体調管理、基本的な感染予防の取組を日頃から徹底いただくとともに、都が作成する接触記録票に活動への参加14日前から前日まで他の人と密接に接触した状況を記録いただくようお願いする。

3 検査の実施

- ・シティキャストに対し、唾液検査キットによるPCR検査を活動前に1回（両大会を通じて活動する方は各大会の活動前に1回）受けていただくよう案内を行う。

<検査の実施手順>

- ① 検査機関は、当該シティキャストが最初に活動へ参加する前に、検査キットをシティキャストの自宅等へ送付する。
- ② 検査キットを受け取ったシティキャストは、活動参加3日前までに各自で検体を採取し、速やかに検査機関へ返送いただく。
- ③ 検査機関は、原則として検体を受領した翌日に検査結果をシティキャストへメール等で通知するとともに、陽性判定の場合は、あわせて都に対しても通知を行う。
- ④ 陽性判定を受けたシティキャストは速やかに都へ報告いただく。
- ⑤ 都は、陽性判定を受けたシティキャストに対し、活動への参加を控え、医療機関による再検査等指示に従っていただくよう案内を行う。
- ⑥ 再検査を受けた場合シティキャストは、結果を速やかに都へ報告いただく。
- ⑦ 都は、再検査の結果が陽性の場合、シティキャストに対し保健所の指示に従っていただくよう案内を行う。

4 ワクチンの接種

- ・シティキャストのうち希望する方には、新型コロナウイルスワクチン接種の機会を提供する。

5 シティキャスト等への情報提供

- ・本マニュアルが定める感染予防の取組やシティキャストに協力いただく内容について、研修や活動前後のミーティング、ウェブサイト、メールマガジンなど様々な機会・手段を通じシティキャストに丁寧にお伝えする。
- ・高齢者や基礎疾患（糖尿病、高血圧、心血管疾患 肥満、慢性閉塞肺疾患、慢性腎臓病など）のある方には感染した場合のリスクをお伝えするとともに、ご自身の健康・体調や活動環境等を踏まえ、参加・活動にあたり十分注意いただくよう呼びかける。
- ・海外に在住し、活動への参加を希望する方には、国籍や在住国、在留資格等に応じた入国規制や移動・待機等の検疫措置に対応いただけるよう、関連する情報を随時お伝えする。
- ・活動参加にあたり、独自に宿泊施設を確保する方に向け、「東京都感染拡大防止徹底宣言」に登録するなど、感染防止対策に取り組む宿泊施設の情報を提供する。
- ・シティキャストへの情報提供にあたっては、日本語以外を主に使用する方や、視覚・聴覚に障害がある方など、様々な方に内容が十分に伝わるよう、適切に対応する。
- ・研修や活動に参加したシティキャストから感染者や濃厚接触者と判定された方が出た場合などにおいて、都は感染拡大防止のため必要に応じ保健所等へ連絡することがあることについてシティキャストへお伝えする。
- ・本マニュアルの内容について都民や観客に丁寧にお伝えし、シティキャストの感染予防の取組への理解をいただけるよう努める。

6 研修における感染予防策

(1) オンライン研修の活用



研修は、最大限オンラインにより実施し、集合研修は、目的や効果を十分に踏まえ、必要最小限の内容で実施する。

(2) 会場施設・備品

ア 拭き取り消毒の実施



会場の施設や備品など、参加者が触れるものが最小限になるよう工夫するとともに、机や

椅子、その他設備・備品は、毎回スタッフが手袋を着用し、チェック表も活用しながら拭き取り消毒を行う。特に多くの参加者が触れる可能性が高い受付カウンターやエレベーターのボタン、マイク等の場所や備品は、こまめに消毒する。

イ 受付カウンター

受付カウンターにアクリル板又は透明ビニールカーテンを設置する。

ウ 研修会場における3密の回避



- ・会場内の座席について、距離の確保、目印の設置、対面の配置を行わない、机上へのアクリル板の設置などの取組を適切に組み合わせて配置を行う。
- ・空調機器による換気、窓・ドアの開放等による換気を行う。
- ・会場や諸室の設備の状況に応じ、窓やドアの開放による換気は、常時又は少なくとも30分に1回、数分間程度実施する。
- ・窓が2方向にある場合は、両方の窓を開放して換気を行う。
- ・マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、咳エチケットのお願いに関する掲示を行う。
- ・研修参加者が受講後に体調不良等になった場合に円滑に対応できるように、参加者の座席位置をあらかじめ指定する。

エ トイレ



- ・手洗い場に石鹸を用意し、車いす使用者をはじめ、誰もが使いやすい高さに設置する。
- ・感染予防の観点から、適切な手洗いの方法やトイレの使用方法等に関する掲示を行う。

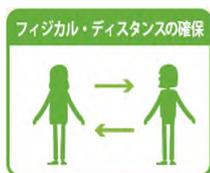
(3) 受付



- ・受付を行うスタッフはマスクを着用し、密集が生じないように、スムーズな受付に努める。
- ・シティキャストが間隔を空けて並んでいただけるよう、受付前に目印を設置するとともに、スタッフが案内を行う。
- ・参加者の検温と体調確認を行い、本章の1に掲げる項目のいずれかに該当する場合は、シティキャストに対し活動参加を控えていただくようお願いするとともに、研修受講日振替や医療機関等への相談について案内を行う。

- ・資料や配布物は、可能な限り手渡しを避け、あらかじめ座席に配布するか、又は受付においてシティキャスト自ら取っていただくなどの対応を行う。
- ・参加者にマスクを配布し、配布したマスク又は参加者が持参したマスクを研修受講中に着用いただくよう案内する。
- ・会場入口に消毒液を設置し、入室時等に手指消毒を行うよう案内する。消毒液は、車いす使用者をはじめ、誰もが使いやすい高さに設置する。
- ・多くの参加者が一度に来場し、会場内が密集した状態になるおそれがある場合は、建物入口やエレベーター前等において一時入場を制限するなどの対応を行う。

(4) 参加者の移動・誘導



- ・参加者が密集した状態にならないよう、介助者等がいる場合を除き、1m以上の間隔を空けて移動いただけるよう案内を行う。
- ・エレベーター内では会話を控えていただくよう案内を行う。
- ・休憩時にはトイレに人が密集しないよう、1m以上の間隔を空けて並んでいただくよう案内を行う。
- ・研修終了後、必要に応じ参加者をいくつかのグループに分け、時間をずらして退出いただくよう案内を行う。

(5) シティキャストへの協力のお願い



会場において、シティキャストに次の取組について協力をお願いする掲示・案内を行う。

- ・マスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底、咳エチケット
- ・参加者同士で会話をする場合は、できるだけ1m以上の距離を確保し、また、対面を避け、大きな声にならないよう気を付けていただくこと
- ・水分補給を行う場合は会話をしないよう気を付けるとともに、生じたごみは各自で持ち帰っていただくこと

(6) ユニフォーム等配布場所

ユニフォーム等を配布する会場においても、研修会場と同様の必要な対策を講じる。

7 活動時における感染予防策

(1) 受付



- ・受付を行うスタッフはマスクを着用し、密集が生じないよう、スムーズな受付に努める。
- ・シティキャストに間隔を空けて並んでいただけるよう、受付前に目印を設置するとともに、スタッフが案内を行う。
- ・受付カウンターにアクリル板又は透明ビニールカーテンを設置する。
- ・参加者の検温と体調確認を行い、本章の1に掲げる項目のいずれかに該当する場合は、活動参加を控えていただくようお願いするとともに、活動日の振替や医療機関等への相談について案内を行う。
- ・参加者にマスクを配布し、活動中（休憩時を含む）に着用いただくよう案内を行う。（参加者が持参したマスク着用は可とする。）
- ・控室入口に消毒液を設置し、入室時等に手指消毒を行うよう案内を行う。消毒液は、車いす使用者をはじめ、誰もが使いやすい高さに設置する。
- ・資料や配布物は、可能な限り手渡しを避け、あらかじめ座席に配布するか、又は受付においてシティキャスト自ら取っていただくなどの対応を行う。

(2) 控室の運営

ア 拭き取り消毒の実施



- ・控室の施設・備品など、参加者が触れるものが最小限になるよう工夫するとともに、机や椅子、その他設備・備品は、スタッフが手袋を着用し、チェック表も活用しながら適時拭き取り消毒を行う。特に多くの参加者が触れる可能性が高い受付カウンターやウォーターサーバー等は、こまめに消毒する。
- ・シティキャストが活動時に使用するスマートフォンやタブレット端末などの共用アイテムは、返却された後、控室のスタッフが消毒を行う。

イ 控室における3密の回避



- ・控室内の座席について、控室の状況に応じ、距離の確保、椅子への目印の設置、対面の配置を行わない、机上へのアクリル板の設置などの取組を適切に組み合わせて配置を行うほか、必要に応じ、控室内の会話を極力控えていただく旨の掲示を行う。
- ・活動前後のミーティング時に、参加者が対面して着席しないように座席を配置する。なお、ミーティングでは、説明内容をまとめた資料を配布するなど、できる限り短時間で実

施できるよう工夫する。

- ・空調機器やサーキュレーターによる換気、窓・ドアの開放等による換気を行う。
- ・控室の設備の状況に応じ、窓やドアの開放による換気は、原則常時（又は少なくとも30分に1回、数分間）実施する。
- ・窓やドアが2方向にある場合は、両方を開放して換気を行う。

ウ トイレ



- ・手洗い場に石鹸を用意し、車いす使用者をはじめ、誰もが使いやすい高さに設置する。
- ・感染予防の観点から、適切な手洗いの方法やトイレの使用方法等に関する掲示を行う。

エ シティキャストへの協力をお願い



控室において、シティキャストに次の協力をお願いする掲示・案内を行う。

- ・マスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底、咳エチケット
- ・参加者同士で会話をする場合は、できるだけ1m以上の距離を確保し、また、対面を避け、大きな声にならないよう気を付けていただくこと
- ・飲食を行う場合は会話をしないよう気を付けるとともに、生じたごみは各自で持ち帰っていただくこと
- ・食後の歯磨きを行う場合は、飛沫の飛散などに気を付けていただくこと
- ・ウォーターサーバーを利用する前には、必ず手指消毒を行っていただくこと
- ・活動前後のミーティングで発言する場合に、大きな声にならないよう気を付けていただくこと

(3) 飲食店の利用

休憩時に飲食店で食事をするシティキャストに対しては、感染拡大防止に取り組む店舗（感染拡大防止徹底宣言及びコロナ対策リーダー登録店舗等）を利用し、少人数（4人以下）での入店、こまめな手洗い・手指消毒、会話時のマスク着用等を徹底いただくよう案内を行う。

(4) 活動現場への移動



参加者が密集した状態にならないよう、介助者等がいる場合を除き、1m以上の間隔を空けて移動いただけるよう案内を行う。

(5) 活動現場

ア 飛沫感染予防策

シティキャストと観客がカウンター越しに対面する案内ブースには、カウンター上にビニールカーテンやアクリル板等を設置する。

イ 接触感染予防策



シティキャストに携帯可能なサイズの消毒液ボトルを配布し、活動中必要な時に速やかに手指消毒を行っていただく。

ウ 暑さ対策との両立に向けた取組

連続する活動時間は60分を限度とし、合間に控室で十分に休憩いただけるよう活動シフトを組む。

(6) 活動終了後

活動後は速やかに直帰いただくようシティキャストに案内を行う。

8 都及び運営事務局における取組



(1) スタッフ

- ・研修会場や控室には運営に必要な最小限度の人数を配置し、スタッフによる咳エチケット、マスクの着用、手洗い、手指消毒を徹底する。
- ・手話通訳者は、研修会場において参加者から離れた場所に立ち、口元や表情が見えるよう、フェイスシールド等を着用する。

(2) 清掃

- ・清掃やごみの廃棄を行うスタッフは、マスクや使い捨て手袋を着用して作業を行い、作業後は丁寧な手洗いを徹底する。
- ・鼻水、唾液等が付いたゴミは、ビニール袋に入れ、口を縛ったうえで廃棄する。

(3) 取組状況の点検・確認

拭き取り消毒や換気等が的確に行われているか、適宜チェック表も活用しながら点検・確認を行う。

(4) 連絡体制の整備

必要な場合に速やかな連携が図れるよう、関係局・運営受託者はもとより、控室や活動場所の施設管理者・関係地域の保健所等との連絡体制を整備する。

9 様々なシティキャストへの対応

(1) 配慮を必要とするシティキャストへの対応

配慮を必要とするシティキャストに対しては、以下の対応を基本としつつ、本人の意向や、配慮を必要とする理由など個々の事情を踏まえ適切な対応を行う。

ア 高齢者や基礎疾患を有する方への対応

- ・高齢者や基礎疾患（糖尿病、高血圧、心血管疾患 肥満、慢性閉塞肺疾患、慢性腎臓病など）のある方には感染した場合のリスクをお伝えするとともに、ご自身の健康・体調や活動環境を踏まえ、参加・活動にあたり十分注意いただくよう呼びかける。（再掲）
- ・高齢者や基礎疾患のある方が活動に参加する場合、活動日数や時間の短縮、観客との距離を確保しやすい場所への配置などを行う。

イ 接触を伴うサポートを必要とする方への対応



- ・シティキャストが介助者とともに参加する場合、介助者にはシティキャストと同様の感染予防策（第3章に定める取組）を行っていただく。
- ・介助者にはマスク着用のうえ、できる限り対面を避けながら通常の距離でシティキャストのサポートを行っていただく。その際、サポートの前後の手指消毒や、シティキャストがマスクを着用できない時には、あわせて介助者にアイシールドも着用いただく。
- ・シティキャストの求めに応じ、スタッフが接触を伴うサポートを行う場合も、介助者と同様の対策を講じたうえで対応する。

ウ 手話を用いる方への対応

手話を用いる方については、表情や口元を見せてコミュニケーションを行っていただけるよう、観客と2m以上の距離を確保しやすい場所へ配置し、終了後は速やかにマスクを着用いただくよう案内する。また、希望する方にはフェイスシールドをお渡しする。

エ マスク着用が困難な方への対応

アレルギーや感覚過敏等によりマスク着用が困難な方に対しては、観客と2m以上の距離を確保しやすい場所へ配置する。また、希望する方にはフェイスシールドをお渡しする。

オ 消毒液の使用を避けるべき方等への対応

アルコール過敏症など様々な理由で消毒液の使用を避けるべき方については、活動中にこまめに手洗いをしやすい場所へ配置する。

カ 視覚に障害がある方への対応

視覚に障害のある方に間隔を空けて列に並んでいただくなどの場合は、必要に応じ、スタッフによる案内などのサポートを行う。

キ 聴覚に障害がある方への対応

聴覚に障害がある方へ説明する場合、研修では手話通訳を行うほか、手話通訳のいない場面では、説明内容を記載した資料のお渡しや、筆談など適切な方法により対応する。

(2) 万が一感染予防の取組を行っていただけない場合の対応

研修・活動への参加中に、マスク着用や手指消毒など必要な感染予防措置を行っていない

方や、大きな声で話し続けるなど感染可能性の高い行為を行う方に対しては、感染予防措置を講じ、又は感染可能性の高い行為を止めていただくよう協力をお願いする。万が一、繰返し協力をお願いしたにも関わらず、対応いただけない場合は、参加を控えていただくよう求める。

第3章 シティキャストに協力いただく感染予防策

1 体調確認



- ・活動参加の前後それぞれ14日間検温と体調確認を行い、その結果を体調管理ノート又は体調管理アプリに記録し、参加当日の受付において記録状況を提示いただく。
- ・参加前又は参加当日の受付時に第2章の1に掲げる項目のいずれかに該当することが判明した場合は、参加を控え、保健所や医療機関等に相談いただく。

2 接触確認アプリの活用



- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールし、陽性者と接触した可能性がある旨の通知を受領した場合は、関係機関への相談等を行っていただく。
- ・活動への参加当日の受付時に、COCOAからの通知の有無、通知があった場合の対応状況を報告し、自宅待機など必要な期間を経過していない場合は参加を控えていただく。
- ・スマートフォンを持っていないなど、COCOAの活用が困難な場合は、日頃から健康の維持や体調管理、基本的な感染予防等の取組を徹底いただくとともに、都が作成する接触記録票に活動への参加14日前から前日まで他の人と密接に接触した状況を記録いただく。

3 検査の実施

- ・シティキャストは、唾液検査キットによるPCR検査を活動前に1回（両大会を通じて活動する方は各大会の活動前に1回）受けていただく。（検査手順は第2章3を参照）
- ・検査の結果、陰性判定の通知を受けた方は、シティキャストとしての活動を終えるまでの期間、本マニュアルが定める感染予防の取組を徹底いただく。

4 ワクチンの接種

- ・希望する方に対し、新型コロナウイルスワクチン接種の機会を提供する。

5 基本的な感染予防策の実施

(1) 日頃より行っていただく取組



- ・十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な運動等を通じ健康と免疫力の維持に努めていただく。
- ・マスク着用、咳エチケット、こまめな手指消毒・手洗い、フィジカル・ディスタンスの確保、3密の回避などに取り組んでいただく。

<マスク着用時の留意事項>

- ① マスクの表面には触れない。
- ② マスクを外す際は、ゴムやひもをつまんで外し、手洗い・消毒する。
- ③ マスク着用が困難な方はスタッフに相談する。（スタッフは第2章の7(1)エに定める対応を実施）

<手洗い・手指消毒時の留意事項> ※正しい手洗い・手指消毒（図解）は別紙参照

- ① 休憩と食事の前後、マスクを外した後、人やモノと接触した後などは必ず行う。
- ② 手洗い後は清潔なタオル等で拭う。
- ③ 目・鼻・口を触る前には必ず手洗い・手指消毒したか確認する。

<咳エチケット>

咳やくしゃみをする場合は、マスクをしていてもハンカチ・袖などを使い、鼻口を押さえる。周囲の人からなるべく離れるようにする。

- ・鉄道等の公共交通機関を利用する際は、マスクを着用し、会話を控えめにさせていただく。

(2) 研修・活動時に行っていただく取組

- ・基本的な感染予防策（マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、咳エチケット等）を行っていただく。
- ・参加者同士で会話をする場合は、できるだけ1m以上の距離（介助者等がいる場合を除く）を確保し、また、対面を避け、大きな声にならないよう気を付けていただく。
- ・筆記用具等は、原則各自で持参し、参加者同士での共用を控えていただく。
- ・ユニフォームや活動時に用いるアイテム（ウォーターボトル等）を毎回洗濯・洗浄するなど清潔に保っていただく。
- ・感染予防、感染拡大防止のため都が願うするその他取組に協力いただく。

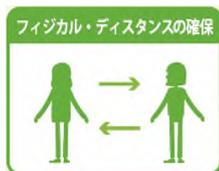
6 研修参加時における感染予防策

(1) 受付時



- ・検温と体調確認を行い、第2章の1に掲げる項目のいずれかに該当することが判明した場合は、参加を控え、後日改めて受講するとともに、必要に応じ医療機関等に相談いただく。
- ・会場入室時に手指消毒を行っていただく。

(2) 移動時



- ・ 介助者等がいる場合を除き、他の参加者と1 m以上の間隔を空けて移動していただく。
- ・ エレベーター内では会話を控えていただく。
- ・ 休憩時のトイレ前では、1 m以上の間隔を空けて並んでいただく。
- ・ 研修終了後、案内があった場合は、他の参加者と時間をずらして退出していただく。

(3) 研修会場内



- ・ 基本的な感染予防策（マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、咳エチケット等）を行っていただく。
- ・ ディスカッションや休憩時に参加者同士で会話を行う場合は、できる限り1 m以上の距離を確保し、また、対面を避け、大きな声にならないよう気を付けていただく。
- ・ 水分補給の際に会話をしないよう気を付けるとともに、生じたごみは各自で持ち帰っていただく。

7 活動時における感染予防策

(1) 受付時



- ・ 検温と体調確認を行い、第2章の1に掲げる項目のいずれかに該当する場合は、活動を控えるとともに、必要に応じ医療機関等に相談いただく。
- ・ 控室入室時に手指消毒を行っていただく。

(2) 控室内



- ・ 基本的な感染予防策（マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、咳エチケット等）を行っていただく。
- ・ 休憩時に参加者同士で会話を行う場合は、できる限り1 m以上の距離を確保し、また、対面を避け、大きな声にならないよう気を付けていただく。

- ・ 飲食時に会話をする際はマスク着用を徹底し、大声とにならないよう気を付けていただく。なお、生じたごみは各自で持ち帰っていただく。
- ・ 食後の歯磨きを行う場合は、飛沫の飛散などに気を付けていただく。
- ・ ウォーターサーバーを利用する前には、必ず手指消毒を行っていただく。

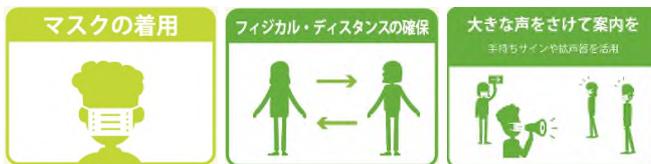
(3) 休憩時に飲食店で食事をとる場合



- ・ 都の案内に従い、感染拡大防止に取り組む店舗（感染拡大防止徹底宣言及びコロナ対策リーダー登録店舗等）を利用いただく。
- ・ 少人数（4人以下）で利用し、飲食店が実施する感染防止策に協力いただく。
- ・ 入店時、食事前、座席の移動時など、こまめな手洗い・手指消毒を徹底いただく。
- ・ 複数人で利用する場合は、正面に座ることをできるだけ回避し、会話をする際はマスク着用を徹底し、大声とにならないよう気を付けていただく。
- ・ 食器を共有しないよう気を付けていただく。

(4) 活動現場で行っていただく感染予防策

ア 飛沫感染の防止



- ・ マスクを着用し、介助者等がいる場合を除きシティキャスト同士及び観客との間隔を1m以上確保していただく。
- ・ 観客と1m以内の距離で対面しての案内が長くないよう気を付けるとともに、大会のガイドやマップ等も活用しながら、スムーズな対応に努めていただく。
- ・ 手話を用いる方が、表情や口元を見せてコミュニケーションを行う際には、観客と2m以上の距離を確保し、終了後は速やかにマスクを着用いただく（また、コミュニケーション中は、必要に応じフェイスシールドを着用いただく。）
- ・ マスクを着用していない観客に対応する場合は、シティキャストにマスクに加えアイシールドも着用し、又は2m以上の距離を確保して案内を行っていただく。
- ・ シティキャストの周囲に観客が密集する場合は、リーダーや本人、スタッフ等の判断により、密集から離れた場所に移動いただくことができる。
- ・ 観客案内の際には、大きな声にならないよう気を付けていただくとともに、必要に応じ、手持ちサインやマップ、拡声器等を活用いただく。
- ・ 案内ブースのある場所では、観客に対し間隔を空けて並ぶよう声を掛けるほか、ブースから離れた場所で案内を行っていただく。

イ 接触感染の防止



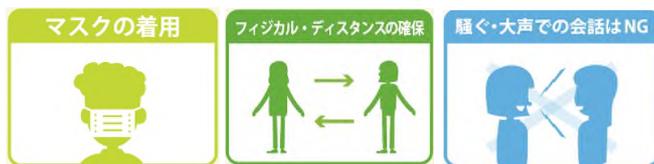
- ・活動中必要な時に、お渡しした消毒液により速やかに手指消毒を行っていただく。（手指消毒時の留意事項は3(1)を参照）
- ・配慮を必要とする観客の方がお困りの場合には、積極的に声を掛け、観客の求めに応じ、必要なサポートを行っていただく。その際、サポート前後の手指消毒や、観客がマスクを着用できない時には、シティキャストにマスクに加えアイシールドも着用いただく。
- ・握手やハイタッチ、ハグなど観客の身体に接触することはできる限り回避し、代わりにエアタッチなど手と手の接触を伴わないコミュニケーションを行うよう努めていただく。やむを得ず観客の身体に接触した場合は、速やかに手指消毒又は手洗いを行っていただく。
- ・目の前で観客が体調を崩した場合、シティキャストはマスク及びアイシールドを着用のうえ、観客の意識の確認やスタッフへの通報など必要な対応を行っていただく。この際、観客がマスクをしていない場合は距離が近すぎないように、また、観客が吐き出したものに触れないよう注意いただくとともに、対応後は手洗い又は手指消毒を丁寧に行っていただく。
- ・マップなどの印刷物は原則案内ブースへの配架等により配布し、シティキャストが手渡しで配布する場合はあらかじめ手指消毒を行っていただく。
- ・活動場所にごみが落ちている場合、そのごみが感染予防の観点から手で拾うことを避けた方がよい場合（例：使用済みのマスクやティッシュ、食べ残し・飲み残しの飲食物、たばこの吸い殻、その他鼻水・唾液・血液等が付着したものなど）は、ごみの回収について所定の連絡先に連絡いただく。その他のごみ（例：チラシなど）を拾った場合は、ビニール袋に入れて口を閉じ、手指消毒又は手洗いを行っていただく。

ウ 暑さ対策との両立に向けた取組



- ・活動中においても、当日の天候や体調等に応じ、本人又はリーダーの判断により、活動を途中で切り上げて控室に戻っていただくことができる。
- ・屋外で活動するシティキャストは、活動中に1～2回は必ず観客から離れた場所に移動してマスクを外し、水分補給を行っていただく。（空港や駅構内等の屋内で活動する場合も、体調等に応じ、任意で水分補給を行っていただく。）
- ・屋外で観客から2m以上離れることが可能な場合は、マスクを着用せずに活動いただくことができる。

エ 観客への注意喚起



- ・活動中、手持ちサイン等を活用しながら、マスクの着用やフィジカル・ディスタンスの確保、大きな声を控えること、観戦後は自宅等に直帰することなど感染予防の取組について観客へ注意喚起を行っていただく。
- ・競技会場周辺において観客が滞留している場合は、速やかな移動を呼びかけていただく。

(5) 活動終了後

- ・活動後は速やかに直帰いただく。

第4章 シティキャストが体調不良等になった場合の対応

1 活動の前後に体調不良等になった場合の対応

(1) 活動の前後14日間に発熱等の症状が出た場合の対応

- ① シティキャストは速やかに都へ報告いただく。
- ② 都は、当該シティキャストの体調を確認するとともに、かかりつけ等の医療機関、自宅等の所在自治体が設置する相談センターへ相談いただくよう案内を行う。
- ③ 医療機関又は相談センターからの指示により、検査を受けることが決まった場合、シティキャストはその事実、発症日（無症状の場合は検査日）の前2日から現在までに濃厚接触した可能性のある他のボランティアやスタッフ、本人が利用した控室等の情報を報告していただく。
- ④ 都は、当該シティキャストが発症日等の前2日から現在までに控室等を利用していた場合は、控室の運営時に通常行っている換気及び拭き取り消毒を実施する。
- ⑤ 検査結果が出たら、シティキャストは速やかに都へ結果を報告いただく。
- ⑥ 当該シティキャストの検査結果が陽性で、発症日等の前2日から現在までに控室等を利用していた場合
 - ア 都は施設管理者及び管轄の保健所に連絡・相談のうえ、保健所の指示に基づき換気・消毒、控室等の閉鎖、濃厚接触の可能性のあるシティキャストへの連絡等の対応を行う。
 - イ 当該施設の再開等については、感染状況や保健所など関係機関と十分に調整のうえ、適切に対応する。

(2) 当日の受付における検温で37.5℃以上の発熱が確認された場合

- ① シティキャストは、スタッフによる案内のもと、受付から離れた場所でしばらく待機いただく。
- ② スタッフは、当該シティキャストの体調を確認するとともに、最大2回まで検温を行い、なお37.5℃以上を確認した場合は、シティキャストに対し活動参加を控えていただくようお願いするとともに、参加日の振替や医療機関等への相談について案内を行う。（その後の対

応は、(1)③以降のとおり)

(3) 活動の前後14日間に接触確認アプリ (COCOA) から接触通知を受け取った場合の対応
(1)のとおり対応する。

(4) 活動の前後14日間に濃厚接触者に指定された場合の対応

- ① シティキャストは速やかに都へ報告いただく。
- ② 都は、当該シティキャストの体調を確認するとともに、保健所が指示する健康観察期間が経過するまで自宅等で待機いただくよう案内を行う。(その後の対応は、(1)③以降のとおり)

(5) 活動の前後14日間に同居人等に発熱等の症状が出た場合の対応

- ① 同居人等が検査を受けることになった場合、シティキャストは速やかに都へ報告いただく。
- ② 都は、当該シティキャストの体調を確認するとともに、同居人等の検査結果が判明するまで自宅等で待機いただくよう案内を行う。(同居人等の検査結果が陽性で、保健所からの指示によりシティキャストも検査を受けることになった場合の対応は、(1)③以降のとおり)

(6) 活動後14日以内に検査を受けて陽性反応が出た場合

シティキャストはその事実、発症日の前2日から現在までに濃厚接触した可能性のある他のボランティアやスタッフ、本人が利用した控室等の情報を都へ速やかに報告いただく。(その後の対応は、(1)⑥のとおり)

(7) 日本入国後14日以内(宿泊場所での待機期間中)に発熱等の症状が出た場合の対応

- ① シティキャストは速やかに都へ報告いただく。
- ② 都は、当該シティキャストの体調及び健康観察を実施している保健所への報告状況を確認し、保健所へ報告していない場合は報告いただくよう案内を行う。(保健所からの指示により医療機関を受診し、検査を受けることが決まった場合の対応は、(1)③以降のとおり)

2 活動前の PCR 検査(第2章3)において陽性判定を受けた場合の対応
第2章3に定める手順に従って対応する。

3 活動中に感染が疑われる症例を発症した場合の対応



① シティキャストが発熱、全身倦怠感、感冒様症例(咳、咽頭痛、息苦しさ等)、味覚・嗅覚異常のいずれかを訴えるなど、新型コロナウイルス感染症と類似する症例が見られる場合には、スタッフ等から関係機関に相談する。

② 相談の結果、感染症の可能性が高い場合はシティキャストに対応可能な医療機関を案内し、感染症の可能性が低い場合は傷病の緊急性等に応じ、119番通報又は控室への誘導を行う。(その後の対応は、1 (1)③以降のとおり)

4 研修参加の前後又は研修受講中に体調不良等になった場合の対応
本章1及び2に定める内容に準じ対応する。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

正しい手指消毒

手洗いの基本とタイミング

- 手洗いの方法
通常は、「エタノール含有消毒薬による手指消毒」を行います。
目に見える汚れがついている場合は、「液体石けんと流水による手洗い」を行います。
- 手洗いのタイミング：
入所者に触れる前後、ケアの前後、入所者の周囲の環境や物品に触れた後 等

エタノール含有消毒薬による手指消毒



十分な量を手の平に取ります
Get an appropriate amount of product in a cupped hand



手のひらをこすりあわせませ
Rub hands palm to palm



手の甲を合わせてすりこみます
Palm to palm with fingers interlaced



指先・爪の間にすりこみます
Rub your palms and fingertips and under nails



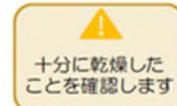
指の間にすりこみます
Rub in between the fingers



親指をねじり合わせてすりこみます
Rub each thumb clasped in opposite hand using a rotational movement



手首にすりこみます
Rub each wrist with opposite hand



十分に乾燥したことを確認します